

特記仕様書（警備）

I. 業務概要

1. 業務名：広島県立歴史民俗資料館機械警備業務
2. 履行場所：三次市小田幸町 122
3. 履行期間：令和 8 年 4 月 1 日から令和 13 年 3 月 31 日まで

4. 業務仕様

- (1) 本特記仕様書に記載されていない事項は、建築保全業務共通仕様書（令和 5 年版）（以下「共通仕様書」という。）、現場説明書及び質問回答書による。
- (2) 業務仕様書（質問回答書、現場説明書、特記仕様書、共通仕様書）に定めがない事項は、施設管理担当者と協議する。
- (3) 本特記仕様書の表記
 - ① ・印と○印の双方が付いた項目は、○印を対象とする。
 - ② ・印と※印の双方が付いた項目は、※印を適用する。
 - ③ ※印と○の双方が付いた項目は、○印を適用する。
 - ④ ※と○印の双方が付いた項目は、※と○印の双方を適用する。
 - ⑤ ・印の項目は、適用しない。

また、各項目に付記した【 】は、共通仕様書における該当項目等を示す。

例：【I 1.2.3】第 1 編 1.2.3 に該当する項目。

- (4) 発注者の都合、関係する設備等の点検及び事故等により、施設管理担当者が必要と認めた場合は、施設管理担当者が指定する場所へ人員を配置すること。
- (5) 受注者は業務に支障をきたさないよう、点検・保守の記録、修理の記録、故障及び不具合等の業務に関する事項について、前任の受注者から十分に引き継ぎを受けること。また、受注者の変更がある場合は、後任の受注者が業務に支障をきたさないよう、前段の業務に関する事項について後任の受注者へ十分に引き継ぎをすること。

5. 警備方式等【VI.1.1.3】

本業務の警備方式は以下の通りとする。

- ・ 施設警備業務
- 機械警備業務
- ・ 施設警備業務及び機械警備業務の併用

Ⅱ. 一 般 共 通 事 項

1. 一般事項

(1) 受注者の負担の範囲 【I 1. 1. 3】

業務の実施に必要な施設の光熱水等の費用負担……

※なし……・有り（・電気……・ガス……・水道……・……）……

(2) 報告書の書式等 【I 1. 1. 5】

業務報告書の書式等は以下により必要に応じ写真等も添付する。

・……
☒ その他 施設管理者の承諾するもの……

(3) 守秘義務

本業務の実施過程で知り得た秘密を他に漏洩してはならない。また、その職を退いた後も同様とする。

(4) 著作権その他

著作権、特許権その他第三者の権利の対象となっている警備方法等の使用に関しては、その費用負担及び使用交渉の一切を受注者にて行う。

2. 業務関係図書

(1) 警備計画書等【VI1. 1. 5】

次の書類を作成し、定められた期日までに施設管理担当者へ提出する。

① 施設警備業務の場合（機械警備業務との併用の場合を含む）

・警備計画書……

・指令書……

② 機械警備業務の場合（施設警備業務との併用の場合を含む）

☒ 警備業務用機械装置の配置図面……

(2) 業務の記録 【I 1. 2. 4】

次の記録を作成し、常時閲覧が可能なように保管を行い、業務終了後に提出する。

・警備日誌……・入居者名簿……・鍵授受簿……・拾得物台帳……

・遺失物届出書……・……

3. 業務現場管理

(1) 業務責任者【I 1. 3. 2】

本業務の実施に先立ち業務責任者を選任し、氏名、生年月日、経歴書、業務に関する資格者証(写)及び受注者との雇用関係を証明する書類について書面をもって施設管理担当者に通知する。

なお、業務責任者を変更しようとするときも同様とする。

(2) 緊急時の措置

緊急事態が発生した場合は、速やかに臨機の措置を講じ、施設管理担当者に連絡する。

4. 業務の実施

(1) 警備員の資格等 【VI1. 1. 4(a)】

本業務の実施に先立ち警備員を選任し、氏名、生年月日、経歴書、業務に関する資格者証(写)及び受注者との雇用関係を証明する書類について書面をもって施設管理担当者に通知する。

なお、警備員に変更があった場合も同様とする。

(2) 警備員の資格等 【VI1. 1. 4(b)】

・警備業務検定資格.....(施設警備.....・1級.....・2級.....)

(3) 警備員の資格等 【VI1. 1. 4(c)】

・防災センター要員.....(・自衛消防業務講習修了者.....・条例に定める講習修了者).....

(4) 業務の報告 【VI1. 1. 6】

報告書等による報告期限(ただし、緊急性のあるものは適宜報告する。)

・警備日誌他 翌日.....時まで(翌日が休日の場合、休日明け)

☒ 警備報告書 翌月の 10 日まで

5. 建物内施設等の利用

(1) 居室等の利用 【I 2. 1. 1】

・別図.....による。.....・現場説明書による。.....

(2) 駐車場の利用 【I 2. 1. 3】

・別図.....による。.....・現場説明書による。.....

III. 特 記 事 項

【施設警備業務】

1. 業務条件 【I 1. 3. 3】

(1) ポストの数等 【VI1. 1. 3(b)】、勤務時間 【VI2. 1. 1】、業務内容 【VI2. 1. 4】

施設警備員の人員配置及び配置時間等は、別紙.....警備員人員配置表 のとおりとする。

(2) 業務室等 【VI2. 1. 2】

・別図.....による。.....・現場説明書による。.....

(3) ローカルシステム 【VI2. 1. 3】

(a) 業務範囲に含む既存のローカルシステム.....

・なし.....・有り(.....・別図.....による。.....・現場説明書による。.....)

(b) 業務において新たに設置するローカルシステム(原則として業務終了後撤去する。)

・なし.....・有り(.....・別図.....による。.....・現場説明書による。.....)

(4) 業務項目

1. 防犯・防災監視.....(.....・実施する.....・実施しない).....

2. エレベーター及びエスカレーター管理

エレベーター管理.....(.....・実施する.....・実施しない).....

エスカレーター管理.....(.....・実施する.....・実施しない).....

3. 鍵管理.....(.....・実施する.....・実施しない).....

4. 駐車場管理.....(・実施する ・実施しない) ..
5. 出入管理.....(・実施する ・実施しない) ..
6. 遺失物の取り扱い.....(・実施する ・実施しない) ..
7. 巡回監視.....(・実施する ・実施しない) ..
8. 各種災害時の対応.....(・実施する ・実施しない) ..
9. 急病人等発生時の対応.....(・実施する ・実施しない) ..
10. 業務妨害への対応.....(・実施する ・実施しない) ..

(5) 防災訓練等への参加【VI2. 1. 5】

※防災訓練.....・その他(.....) ..

(6) 苦情の解決

- ・受注者は、常に、その行う警備業務について、発注者等（警備業務実施場所の周辺住民、通行者等も含む。）からの苦情の適切な解決に努める。

(7) その他

ア この仕様書に示されていない場合であっても発注者が保安警備上必要と認めた事項については、発注者の指示に従い速やかに実行すること。

イ 契約期間の終了時又は中途において受注者の変更がある場合は、後任受注者が業務に支障をきたさないように受注者の警備員を常駐させるなど十分な引継を行わなければならない。

【機械警備業務】

1. 警備業務用機械装置【VI2. 2. 1】

警備業務用機械装置の機能及び警戒範囲は次による。

※別紙1「警報装置一覧表」及び別紙2「機械警備対象区域及び警戒ブロック割り」のとおり

- ・ 施設のドア、ガラス等の開閉及び破損を感知する機能
警戒区域:
- ・ センサーが感知した内容を表示する機能
警戒区域:
- ・ 火災発生を感知する機能
警戒区域:
- ・ ガス漏れを感知する機能
警戒区域:
- ・ 金庫盗難を感知する機能
警戒区域:
- ・ 機械装置及びセンサーの破壊、配線の切断等の異常を監視する機能
- ・ 非常通報押しボタンにより非常信号を感知する機能
非常通報押しボタンの位置:
- ・ 施設内各種設備警報盤と結線し異常を種類別に監視する機能
警報盤の位置:

- ・ 警備の開始、解除の操作を行う機能

操作位置: _____

- ・ 基地局に異常等の信号を送信する機能
- ・ 一般公衆回線の断線を監視する機能
- ・ 一般公衆回線が使用中の場合、強制切断して警報信号を送信する機能

2. 既存設備の使用【VI2. 2. 2】

既存警備業務用機械装置を用いて機械警備業務を行う範囲は次による。

・ なし ・ 有り (・ 別図 及び別紙 による)

3. 即応体制の整備

基地局において盗難等の事故の発生に関する情報を受信した場合に、その受信のときから 25 分以内に当該現場に警備員を到着させること。

警 報 装 置 一 覧 表

装 置 名	台数等	設 置 箇 所	備 考
電話回線送信機	1 式	管理人室	
電源装置	1 式	//	
回路表示器	1 式	//	
操作表示器	1 式	本館通用口横 外壁	鍵付収納付き
電気錠	1 式	本館通用口	
金庫センサー	1 式	事務室	
非常ボタン	1 個	事務室	
立体型パッシブセンサー	18 個	事務室, エントランスホール, 館長室 会議室, 常設展示室, 展示器具収納室 廊下1 (新館), 準備室, 研究室 資料室兼図書室, 展望ホール, 企画展示室, 工作室, 荷受・仮収蔵庫	室内等
平面型パッシブセンサー	7 個	廊下 (本館) 廊下1 (新館)・研究室 展望ホール・企画展示室	廊下
マグネットスイッチ	31 個	エントランスホール・管理人室・館長室 会議室・事務室・準備室・廊下 (本館) 廊下1 (新館)・本館B1・新館B1	部屋等の窓
シャッター (振動) センサー	3 個	玄関・ピロティー	
威嚇ライト	1 個	玄関	

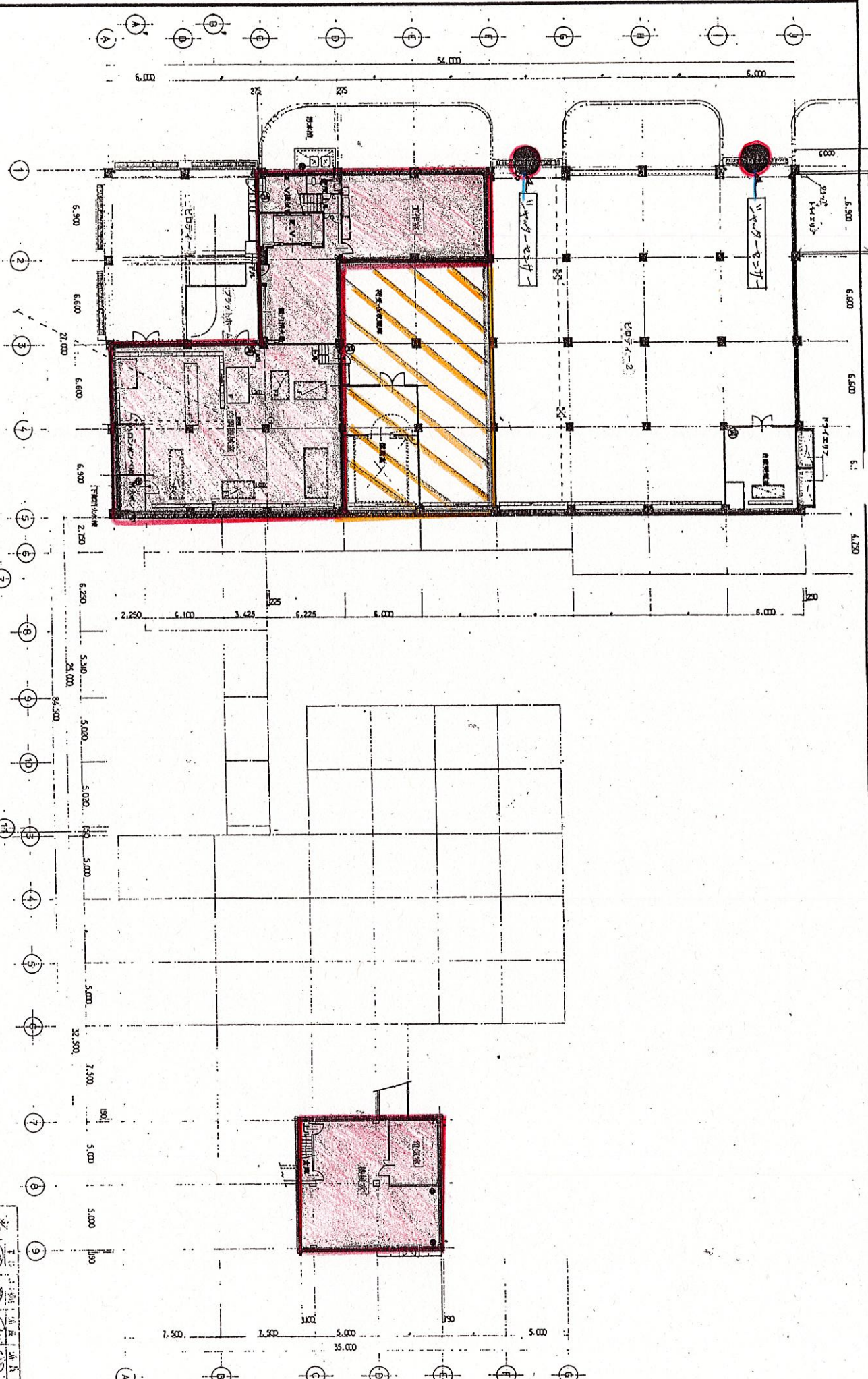
機械警備対象区域及び警戒ブロック割り

建物区分	構造	階 層	警備装置設置室名等				備 考
			系統(ブロック)	室 名	面積 m ²	セット／解除	
資料館 本 館	鉄筋 コンクリート	地上1階	管理人室	管理人室	37	◎	
			廊下(本館)	廊下(本館)		◎	
			事務室	事務室(総務課)	39	}	
				会議室	19		
				館長室	31		
			エントランス 常設展示室	エントランスホール	162	}	◎
				常設展示室	513		
				準備室	33		
資料館 新 館		廊下(新館) 研究室	廊下1(研究室前まで)		}		
			廊下2				
			研究室(学芸課)	57			
			資料室兼図書室	67			
			ホール	41			
		展望ホール 企画展示室	廊下1(展望ホールまで)		◎		
展望ホール	101						
企画展示室	255						
資料館 本 館	資料館 新 館	地下1階	本館B1	機械室	100	}	
新館B1			荷受・仮収蔵庫	228	}	◎	
			工作室	78			
			空調機械室	243			

※建物全体面積3,712.4m²

設 備 名 称 等

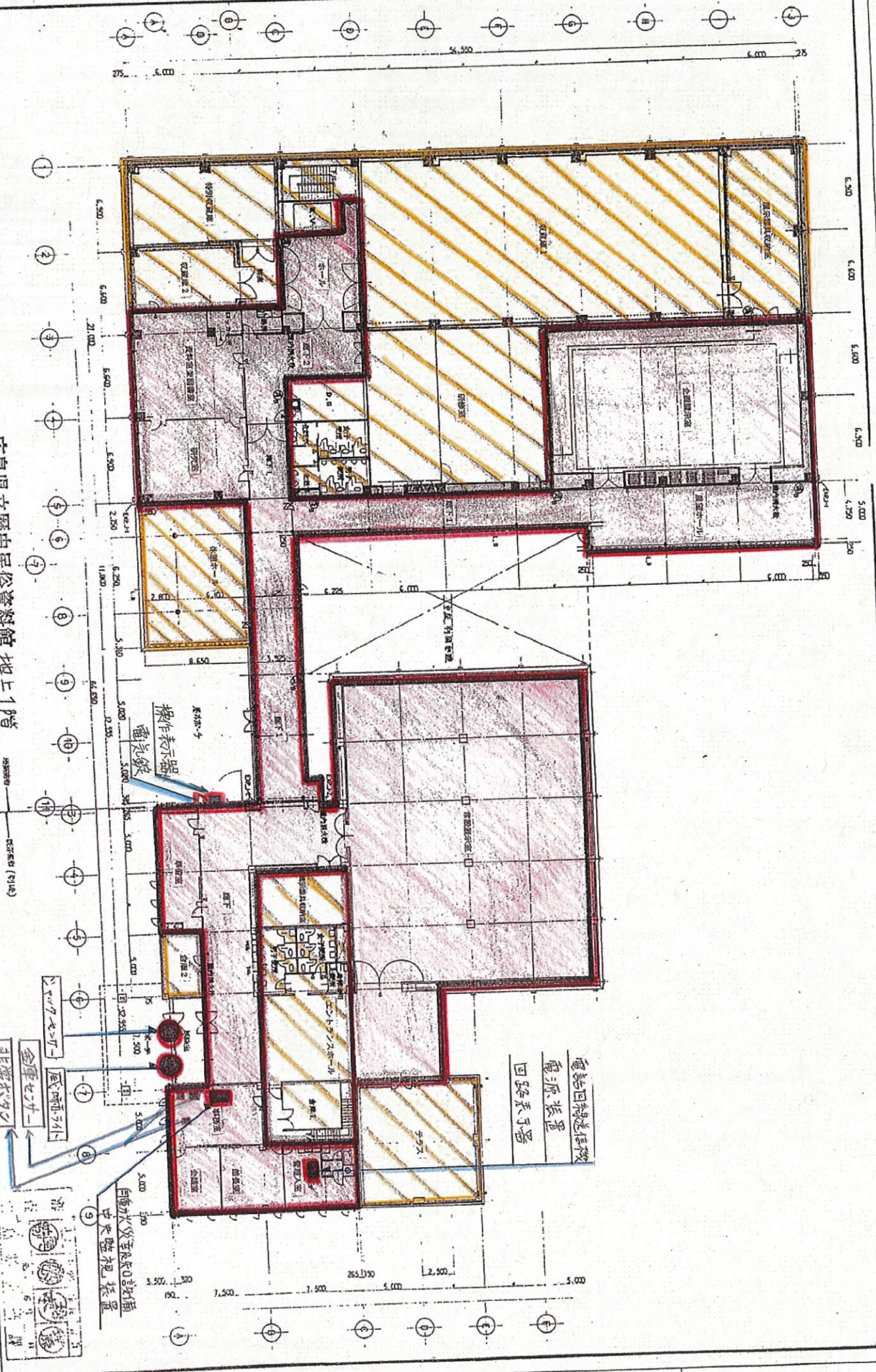
設備名称等	規 格	設 置 室	備 考
自動火災報知設備 防火・防排煙設備	能美防災 P型1級(蓄積式) 受第9から22～1 号	事務室(総務課)	自家発電による停電対策あり
中央監視装置	アズビル	〃	〃
	savic-net		
	FX2compact		



広島県立歴史民俗資料館地下1階

（別添）





広島県立歴史民俗資料館 地上1階